

長崎県

- 長崎県の年間商品販売額は卸売業の6割強、
小売業の5割強を長崎市と佐世保市が占める -

長崎県の事業所数をみると、卸売事業所の32.1%、小売商店の28.6%を長崎市が占めています。

年間商品販売額をみると卸売業では長崎市が45.3%を占め、次いで、佐世保市の順となっています。小売業では長崎市が29.2%を占め、2位の佐世保市と合するとこの2市で長崎県の小売業の54.8%を占めています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が36.0%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳では市街地型の割合が最も高く、次いで、住宅地背景型の順となっています。

卸売販売品目をみると、「生鮮魚介」が1位に入るなど農畜水産関連が上位に入っています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

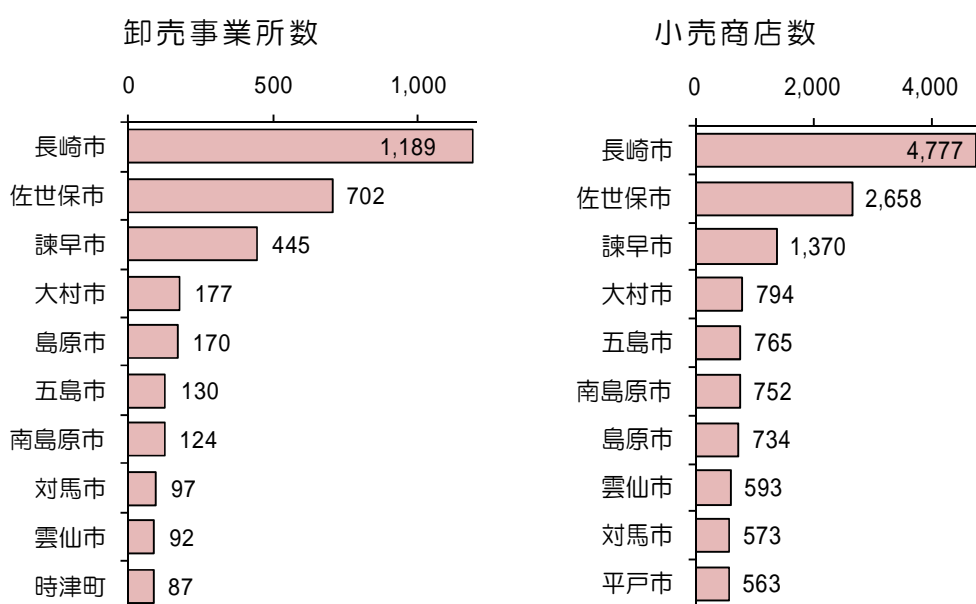
	事業所数		就業者数		年間商品販売額			
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位		
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-		
長崎県計	20,413	25	123,496	27	3,024,321	32		
卸売業計	3,707	28	30,943	30	1,636,930	32		
業種別	各種商品卸売業	15	26	155	28	7,029	29	
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	9	35	58	34	2,049	32	
	衣服・身の回り品卸売業	87	33	811	25	18,985	30	
	農畜産物・水産物卸売業	704	17	6,679	20	332,319	30	
	食料・飲料卸売業	592	23	4,882	30	234,383	32	
	建築材料卸売業	532	23	3,499	29	146,633	35	
	化学製品卸売業	118	31	804	33	46,215	34	
	鉱物・金属材料卸売業	150	29	1,259	34	197,559	27	
	再生資源卸売業	79	32	618	34	37,998	23	
	一般機械器具卸売業	253	35	2,299	30	124,711	29	
	自動車卸売業	158	36	1,462	34	48,584	37	
	電気機械器具卸売業	155	34	1,436	33	90,334	35	
	その他の機械器具卸売業	106	29	956	32	47,677	32	
	家具・建具・じゅう器等卸売業	177	25	1,213	24	33,738	28	
	医薬品・化粧品等卸売業	212	25	2,261	24	139,742	29	
	他に分類されない卸売業	360	32	2,551	33	128,975	33	
	小売業計	16,706	25	92,553	26	1,387,391	27	
	業種別	各種商品小売業	76	25	5,959	30	116,058	30
		織物・衣服・身の回り品小売業	1,974	27	7,826	24	98,938	25
飲食料品小売業		6,656	20	37,970	25	435,707	29	
自動車・自転車小売業		967	33	5,793	33	121,150	38	
家具・じゅう器・機械器具小売業		1,454	26	6,841	25	210,934	14	
その他の小売業		5,579	26	28,164	28	404,603	33	
医薬品・化粧品小売業		1,161	27	5,669	27	90,504	29	
農耕用品小売業		196	32	776	35	18,425	28	
燃料小売業		930	27	5,189	30	156,827	33	
書籍・文房具小売業		634	26	6,983	29	35,863	33	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業		366	29	1,834	26	26,046	26	
写真機・写真材料小売業		27	39	100	38	645	45	
時計・眼鏡・光学機械小売業		301	24	919	25	8,901	27	
他に分類されない小売業		1,964	24	6,694	26	67,391	35	

2. 市町村別の状況

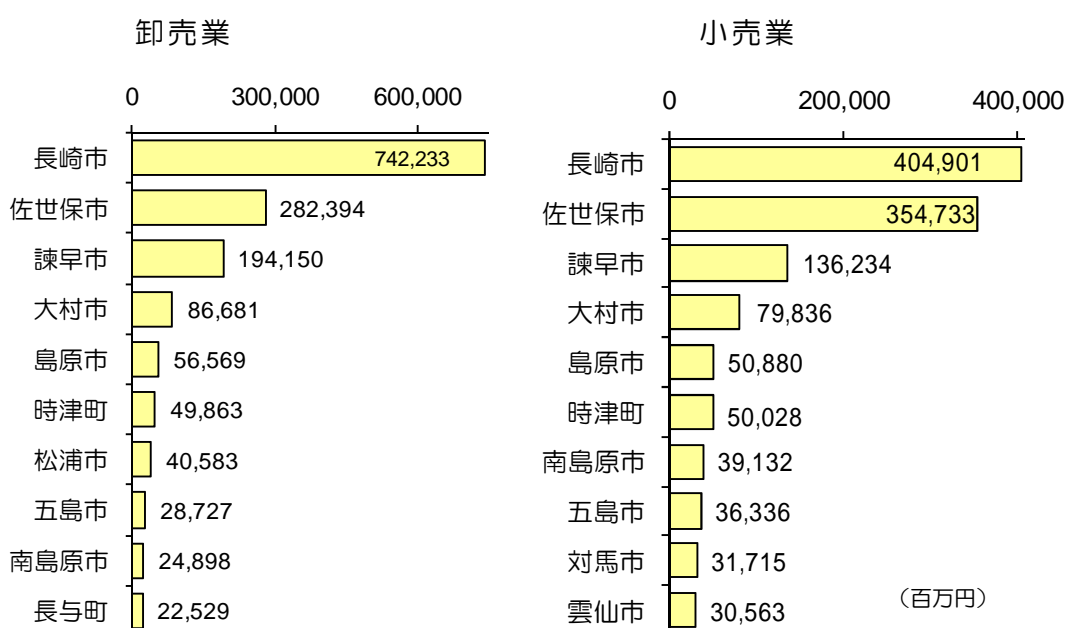
長崎県の事業所数をみると、卸売事業所の32.1%、小売商店の28.6%を長崎市が占めています。

年間商品販売額をみると、卸売業の45.3%を長崎市が占め、次いで、佐世保市、諫早市の順となっています。小売業では長崎市が29.2%を占め、次いで、佐世保市、諫早市の順となり、長崎市と佐世保市で54.8%と長崎県の小売業の半分以上を占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

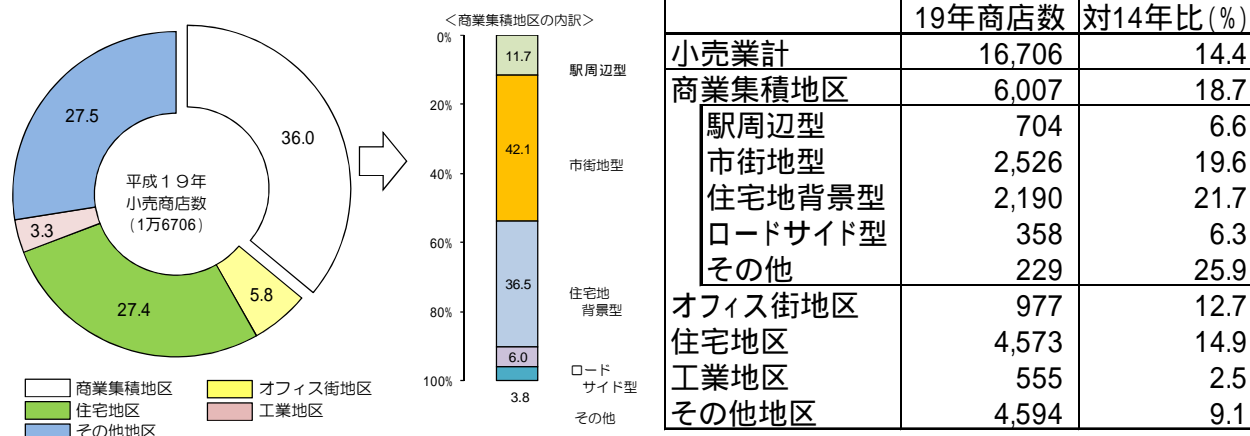


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が36.0%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳では市街地型の割合が42.1%と最も高く、次いで、住宅地背景型の順となっています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「生鮮魚介」、「野菜」、「食肉」など、農畜水産関連が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)

